

## 生命保険業界の現状と生命保険商品の将来像

大同生命保険相互会社

商品部長 工藤 稔 KUDOU Minoru

### 1. 生命保険業界の現状

- ・1997年の日産生命の破綻をはじめとして5年間に7社が破綻するなど、近年の生命保険会社の経営環境は厳しい。
- ・最大の原因は「逆ざや」にある。バブル崩壊後、生命保険会社は、過去に契約者に約束した高い予定利回りと実際の低い運用利回りとの差額を自社の経営体力の範囲内で補填してきたが、高利回り商品に傾注し過ぎていた会社や体力のない会社は補填しきれず破綻するに至った。

1997.4 日産生命破綻→あおば生命	2000.10 千代田生命破綻→A I Gスター生命
1999.6 東邦生命破綻→G Eエジソン生命	2000.10 協栄生命破綻 →ジブラルタ生命
2000.5 第百生命破綻→マチュアiventure生命	2001.3 東京生命破綻 →未定
2000.8 大正生命破綻→あざみ生命	

- ・残存する会社も少なからず逆ざやを抱えており、さらには規制緩和・外資参入に伴う競争も今後ますます激しくなると予想され、依然として外部環境には改善傾向は見られない。

平均予定利回り3.5%程度に対して実際の運用利回りは2%程度。業界全体での逆ざや額は年間1兆円を超える。

\*生命保険会社の健全性を判断する一般的な指標としては次のものが挙げられる。

○ソルベンシーマージン比率

→大災害や株の大暴落など、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかを判断するための行政監督上の指標の一つ

○基礎利益

→生命保険会社のフローの基礎的な収益の状況を示す指標として創設されたものであり、有価証券の売却損益や評価損益などの臨時的な損益を考慮しない本業の収益をあらわす。(逆ざやを差し引いた後の収益である。)

○格付け機関による格付け

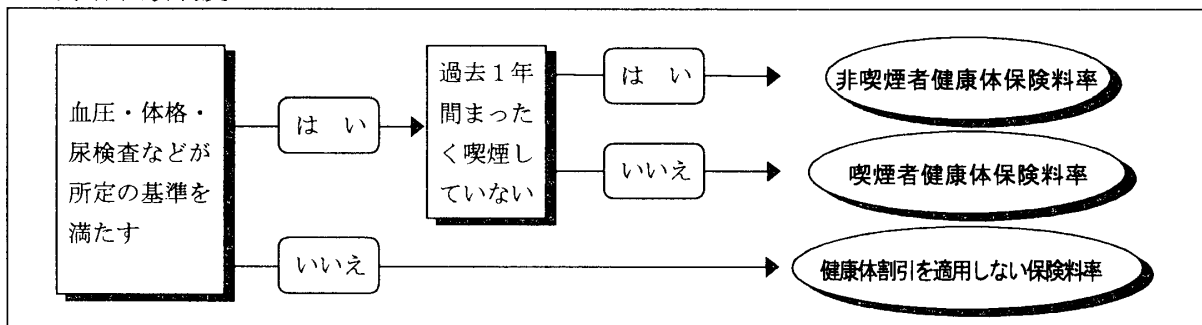
→内閣府令で定められている指定格付機関による「保険財務力」や「保険金支払能力」に関する格付け

### 2. 大同生命の現状・今後

- ・大同生命は、従来より中小企業マーケットに特化した経営戦略を採用しており、企業経営者に対する高額の死亡保障商品（定期保険）を主力としている。
- ・現在、大同生命が相対的に健全な財務体質を確保できているのは、①定期保険を主力とした保障型商品を重点販売しているため貯蓄型商品の占率が低いこと、および、②安定的に収益を確保できる公社債などに重点を置いた資産運用を行ってきたこと、が主な理由である。

- ・また、商品面でも、健康な人の保険料を割り引く「健康体割引制度」を早くから導入するなど、先進的かつ積極的な開発を行なってきた。

<健康体割引制度>



### 3. 生命保険商品の将来像

#### ①他業態の金融商品との融合

- ・従来より、生命保険商品は保障というリスクヘッジ機能を提供してきた一方で、他業態の金融商品と同様、資産運用機能も提供してきた。
- ・特に、この1、2年においては、大手生命保険会社のうち数社が、保障機能と貯蓄機能を明確に分離させた商品を発売するなど、より金融商品としての位置づけが高まりつつある。
- ・このまま規制緩和が進んでいくことを前提とすれば、金融商品のワンストップショッピングを最終目標とした他業態の金融商品との融合が進んでいくものと予想される。

#### ②リスク細分型商品の拡大

- ・大同生命では、健康状態や喫煙・非喫煙に基づき保険料を割り引く制度（健康体割引制度）を導入した他、糖尿病・高血圧症の方に対して、その症状などに応じて4ランクの保険料率を適用する専用商品（糖尿病・高血圧用定期保険）を販売するなど、リスク細分型商品の開発に積極的に取り組んでいる。
- ・また、他の生命保険会社でも、既に健康状態、喫煙・非喫煙、運転履歴・自動車保険等級などに基づく保険料の割引制度を導入している。
- ・このように、様々な角度から個々が有するリスクの大きさを判定し、それに見合った合理的な保険料を設定していくという考え方は、顧客（特に健康な人など割引対象となる人）に支持されるものであり、今後とも各社は積極的な開発を行なっていくものと予想される。
- ・ただし、遺伝子検査を利用した保険引受・保険料率の設定については、プライバシーの問題や保険制度の社会性の問題を含めて慎重な議論が必要である。

### 4. 結び

これからの各生命保険会社の商品体系は、会社固有の営業戦略により、ますます多様化していくことと思われるが、医学上の精緻なデータを継続的に入手することにより、新たな給付商品の開発や割引サービスの提供が必要不可欠となっていく。そのためには各種データのリサーチ力や分析力の差が生命保険会社の隆盛を左右することになるだろう。

以上